



▲浦田小137年の歴史を劇で演じた『みんなの浦小物語』

浦田小学校（神成寿寛校長・児童数21人）では、10月14日に学習発表会が行われました。平成24年度で

閉校となることから、最後の学習発表会となります。今回のテーマは「浦田っ子 笑顔 満開 かがやいて」。1・2年生の「はじめのあいさつ」から舞台発表が始まり、ミュージックベルの合奏やダンス、全校児童による劇や合唱が披露されました。このうち、「みんなの浦小物語」は、浦田小学校137年の歴史を劇で振り返る前編、後編合わせて約50分のにぼる力作。子ども達の元気ではつらつとした演技に、ひととき大きな拍手が送られました。最後に、児童を代表し6年生の柴田彩冬さんが「あと半年ほどで、浦田小学校の歴史は幕を閉じます。その最後の瞬間まで、みんな仲良しで笑顔の絶えない浦田小学校の伝統を守れるようにがんばっていきます。これからも応援よろしくお願いします。」などと力強くあいさつしました。会場は、子どもたちの発表をビデオやカメラに収める光景が広がり、舞台発表が終わることに大きな拍手が響き渡りました。ホールには、絵画や書道、家庭科で作った作品のほか、浦田小学校伝統の七輪や野焼きの作品が展示され、保護者らはじっくり鑑賞していました。また、これまでの歴史を振り返るアルバムや文集も展示され、懐かし

浦田小学校の校舎では最後の学習発表会

市内の小中学校では、毎年10月を中心に各テーマのもと元気あふれる学習発表会や学校祭を行っています。児童・生徒らの図画や書道、工作などの作品展示のほか、ステージでは合唱やダンス、演劇などを披露して、家族や地域の方々に日頃の学習成果を発表しています。

## 市内小中学校で発表会・学校祭

# 日頃の学習成果を披露



▲アルバムや文集を見ながら当時を懐かしむ保護者や地域住民



▲伝統芸能『からめ節』(10月7日・阿仁中)



▲演劇『ごくせん2012』(10月7日・鷹巣南中)



▲劇『海外ホームステイアメリカ編』(10月21日・合川東小)

## 完成を記念し招待試合



▲大勢の観客が詰めかけた秋田北鷹高校と浦和学院高校の試合

●秋田北鷹高校野球場こけら落とし  
県立秋田北鷹高校の野球場完成を記念し、10月13日、埼玉県の浦和学院高校と招待試合を行いました。野球場（両翼92メートル、中堅122メートル）は、旧鷹巣農林高校のグラウンドを利用し、土の入れ替えやフェンスなどの改修を行い8月に完成しています。招待試合は同校野球場こけら落とし実行委員会が主催したもので、対戦相手の浦和学院高校は、甲子園に19回（春8回、夏11回）出場の実績をもつ甲子園常連の強豪校です。秋田北鷹高校は、第1試合0対4、第2試合0対1と惜敗しましたが、強豪校相手に素晴らしい試合を見せ、観衆から大きな拍手が送られました。

## 山里の秋を感じながら健康維持



▲談笑しながらウォーキングを楽しむ2キロコースの参加者

●市民「マタギウオーク」  
歩くことで健康増進を図ろうと、10月17日、「マタギウオーク」が阿仁打当周辺で行われ、市民ら約80人が参加して心地よい汗を流しました。今回のウォーキングでは、参加者が内陸線に乗り、阿仁マタギ駅に集合しました。参加者は、ラジオ体操で体をほぐした後、2キロ（阿仁マタギ駅→打当温泉）と5キロ（奥阿仁駅→打当温泉）に別れてスタート。色づき始めた野山の景色を眺め、談笑しながら思い思いのペースで歩きました。ウォーキングの後には、打当温泉で入浴したり、マタギ継承者からの「マタギ語り」を聞いたり、ジャンケン大会などをして楽しみました。

## 万々に備え車両の構造を習得



▲油圧式ジャッキを使い、慎重に車両を持ち上げる訓練をする消防職員

●鉄道事故対応講習及び訓練  
鉄道事故対応講習及び訓練が10月16日、阿仁合駅構内で行われ、北秋田市消防本部の消防職員と内陸縦貫鉄道株式会社社員の社員合わせて約30人が参加し、万々に備えました。この講習と訓練は、車両の特徴を学ぶことにより、鉄道事故が発生した場合に、より安全に救助するため同消防本部が初めて開いたものです。はじめに秋田内陸縦貫鉄道の社員が車両の構造や緊急時の操作方法を説明し、続いて消防職員が車内から安全に救助する手順や、車輪の下に挟まれた場合を想定し、約30トンの車両を油圧式ジャッキを使いながら持ち上げる手順などを、一つ一つ確認しながら訓練しました。